



座間市制施行50周年記念市民提案事業  
座間市制施行50周年記念 特別コンサート

# 新作 座間讃歌

未来に輝け！「座間の原風景」を歌う

2021年10月2日(土) 午後2時開演

ハーモニーホール座間 小ホール

主催；



国際ソロプチミスト座間

後援；神奈川県 / 座間市

SOROPTIMIST  
Investing in Dreams

# ごあいさつ

座間市長 佐藤 弥斗

市制施行50周年記念特別コンサートの御開催、誠におめでとうございます。

日頃から、山本会長をはじめ国際ソロプチミスト座間の会員の皆様には市政の各般にわたり御協力を頂き、心から感謝申し上げます。

また、この度は市制施行50周年記念市民提案事業として、本市の市制施行50周年を祝賀する特別コンサートを企画・開催していただきました。重ねて御礼申し上げます。

本日は、50周年の節目にふさわしい楽曲の数々が披露され、御来場の皆様に大きな感動と、座間の魅力が届き、心躍るようなコンサートになると確信しております。

結びに、会員皆様の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

国際ソロプチミスト座間会長 山本 修子

座間市制施行50周年おめでとうございます。

この度国際ソロプチミスト座間として、座間市の原風景を歌い上げた新曲の初演を開催できることは、関係各位の多大なご尽力に心より感謝申し上げます。

また日頃よりSクラブとして、国際ソロプチミスト座間が応援しています、神奈川県立座間高等学校創作舞踊部の賛助出演は、女性と女兒の生活向上の支援をしております、当団体としては大変喜ばしいことです。

本日は共に50周年を祝い、皆様が元気で笑い楽しめる特別なコンサートをお楽しみいただければ幸いです。

## 第 1 部

ミニオペラ 古典落語より「寿限無」

脚本・川島早智子 作曲・加藤由美子

「ラジオ体操の魅力」お話と演奏

テレビ体操・ラジオ体操ピアニスト 加藤由美子

ミニオペラ 古典落語より「芝浜」

脚本・作曲 加藤由美子

## 第 2 部

新作初演

「座間讃歌」～見えないモノが見える街座間～ 作詩・大島尚志 作曲・加藤由美子

### プロローグ

座間の湧き水～風と大風～古道～ひまわり～見えない富士山…………… 横山 政美・藤崎 啓之  
県立座間高校 創作舞踊部

第1章・古道…………… 藤崎 啓之

第2章・雛人形…………… 横山 政美

第3章・風の吹く里…………… 横山 政美・藤崎 啓之

第4章・ひまわり…………… 横山 政美

第5章・挑め 羽ばたけ！…………… 県立座間高校 創作舞踊部  
横山 政美・藤崎 啓之

第6章・水の湧く里…………… 横山 政美・藤崎 啓之

第7章・相武台とキャンプ座間…………… 横山 政美・藤崎 啓之

新たなプロローグ…………… 横山 政美・藤崎 啓之  
～エピローグに変えて～ 県立座間高校 創作舞踊部

〈作詩・演出〉 大島 尚志 Takashi Oshima

〈作曲・ピアノ〉 加藤由美子 Yumiko Kato

〈ソプラノ〉 横山 政美 Masami Yokoyama

〈バリトン〉 藤崎 啓之 Hiroyuki Fujisaki

神奈川県立座間高等学校創作舞踊部

## ミニオペラ 古典落語より「寿限無」

(2002年発表)

一生呼ばれ続ける名前。

死ぬまでつき合っていく名前。

名前の通りの良い人生だったと思えるような、素晴らしい名前をつけてあげたい…親の願いです。幅広く親しまれている落語「寿限無」は、そんな親心が高じて引き起こす、馬鹿馬鹿しくも、心あたたまるお話です。

脚本:川島早智子

じゅげむじゅげむ…で始まる長〜い名前の話。

既に名前自体にリズムがあり、繰り返す度にテンポアップする事で、面白さを表現した。

教育番組で言葉遊びとして紹介され、落語とは知らずに覚えた方も多し。作曲:加藤由美子

## ミニオペラ 古典落語より「芝浜」

(2013年発表 2016年改訂)

夫婦の人情話として有名な古典落語。登場人物を2人に絞り、テンポ良く仕上げ、後の再演の際に、ご隠居さんや近所の人々を加えた改訂版を作成。時を告げる鐘の回数は、江戸時代の数え方に基づく。2020年に46年ぶりとなる山手線の新駅「高輪ゲートウェイ」が開業したが、芝浜はちょうどあの辺りであり、昔は海だった場所である。

脚本と曲を同時に創作した事による一体感を楽しんで欲しい。

作曲:加藤由美子

## 新作初演「座間讃歌」～見えないモノが見える街 座間～

私は「讃歌」と云う言葉の響きが好きだ。讃えたいモノが在って、讃えたい気持ちが在る。それだけで心も体も温かくなる。それが、多くの人々と気持ちを一つにして讃えられるとなれば、その喜びは百倍千倍にも膨らむ。

私は「讃歌」と出会うために座間を歩いた。空気を吸った。水を味わった。風に吹かれた。人と話しをし時間と風土を感じた。

ある日、相武台下駅から阿夫利嶺 大山を眼にした。座間を見守る嶺の向こうに霊峰富士が在る事を知り感じたとき〈見えないモノが見える街・座間〉自然と言葉が生まれた。

今日、皆さんと感じたい! 讃えたい!

「座間讃歌」の心を。

作詩:大島尚志

大山を見ながら育った私は、街がどんなに変化しても大山を見ると「ふるさと」を感じる。大山の向こうには富士山があるが、近すぎて見えない。遠く離れた場所では全部が見えたり、角度が違う場所だと頭だけちょっと見えたりするが、座間からは全く見られない。近すぎても見られないものは、人間関係にもある。でも、少しだけ想像力を働かせると、見えないモノも見えてくる。

私の音楽もそんな想像力から生まれている。

作曲:加藤由美子

**Staff** 演出 大島尚志 | 照明 中村浩実 | 舞台監督 堀井基宏 | VTR コンチェルト(今井豊)  
陰アナウンス 小柳麻記 | 舞台助手 尾崎風磨 | チラシ・プログラムデザイン 上山順子

**協力** 座間市写真連盟 座間華道協会

## 国際ソロプチミスト座間

国際ソロプチミスト座間は1988年に認証されました。「夢を生きる賞」で2018年期には東リジョン賞第3位をいただきました。市内の児童養護施設の女子中高生と定期的な交流を行い、20周年として卒園者に自立支援金を贈る「国際ソロプチミスト座間まゆっこ基金」を設立し、毎年該当者に贈呈しています。Sクラブとして、2014年より神奈川県立座間高等学校創作舞踊部を継続支援しています。市や市社協に定期的に寄付を行い、市内の各イベントへも毎年参加して 市民への一般知名度向上に努めています。2005年期より、市内にある米陸軍の軍人・軍属の配偶者団体であるZaCSAと定期的な国際交流を行っています。2017年より国際女性デーの活動も始め、フレンドシップ・パーティーも毎年趣向を工夫して開催して会員拡大に努めています。